



ピラミードたより

テーマ「交通」
発達領域：言葉の発達

①これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

“たろうくんのおでかけ”という絵本を見ました。たろうくんは、急いでいるので、走ったり横断歩道を渡らずに行こうとするので、子どもたちに「良いのかな？」と問いかけると「あかんで」「えーくるまにひかれちゃうやんな」「(みちの)はしをあるくねん」と、知っていることを話しています。信号の絵を見ると「あおはいく」「あかはとまる」と得意気です。



たろうくん
だめやな～

あぶない
なあ～

③視野を広める(どうしてそうなるの)

道路の歩き方や、信号のない道の歩き方などを話しながら、淀川駅へ散歩に行きました。「どうやってあるこう？」と聞くと「くるまがきたらとまる」「みちのまんなかはあるいたらだめ」「みんなのみちはやくそくまもる」など話しています。道を曲がる時は、右見て左見てもう一度右を見ることを保育者と言葉にしながら道を歩きました。

リュックを
せおって～
しゅっぱつ！



②具体的に体験させる(見てみよう！)

道路や車のおもちゃを使って走らせたり駐車して遊ぶと車かバスの自分の好きな方を選んで「ぶっぶーとおりまーす！」「ここにくるまとめまーす！」「ばすのりますか？」など、友だちと遊びを共有しながら行っていました。駐車場に停めて「がちゃ」と鍵を閉めてから片付けました。



くるまがとおります！
びーん！びーん！

④視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい！)

信号の見方や横断歩道の渡り方など気をつけながら下水道科学館へ遠足に行きました。信号が青にかわると「あおや！わたろう」と手をあげて渡ったり、左右の確認をしたりと、今までに話してきたことを覚えて行っていました。止まれの標識も散歩のときに見ていたため「とまれやな」と友だち同士で確認していました。交通ルールを守って帰りは疲れていましたが楽しい遠足になりました。

いっぱい
あるいた～



まえをみて
あるこう！

